



サイドプルダウンの一覧

画面	拡大縮小	拡大	ルーペ	移動	再表示	原図	回転	レイアウト				
設定	設定1	設定2	用紙原点	スケール設	ドラフト	スケール削	スケール変	バック化	バック解除	座標原点	イメージ取込	イメージ表示
線	単線	連続線	平行線	2重線	矩形	分割線	垂水線	垂線	角度線	表作成	自由線	画数
円/円点	半径	中心点	2点円	3点円	3点弧	楕円弧	半径角弧	同心円	楕円	〇〇〇	〇〇ー	
文字	単記入	訂正	編集	移動	連記入	連番	拡大縮小	範囲	文字分解	引出線		
寸法線	水平	垂直	平行	自由	半径	直径	補助寸法	角度	垂線	振分	累計	周長
部品	選択	登録	整理	集計								
図面	保存呼出	挿入呼出	保存	領域保存	DXF呼出し	DXF保存し	DWG呼出	DWG保存し	JW呼出	JW保存	印刷	要素数
ハッチング	平行	格子	煉瓦	塗潰	オフセット	分割線	選択	登録				
計測	点間距離	線間距離	要素	角度	周長	面積						
消去	一括	単独	交線	矩形内	矩形外	多角消	間切断	全消去				
編集	線伸縮	線揃え	角揃え	XY倍率	円伸縮	面取	R面取	分割	線結合	変更	パラメトリック	点移動
移/複	移動	面移動	複写	連続複写	回転移動	反転移動	レイヤ移動	レイヤ複写	回転複写	反転複写	取込	貼付
通り芯	XY一括	単独通芯	予備芯	符号	芯ずれ							
柱・壁	RC柱	RC壁	S柱	ALC	木柱	木壁	軽鉄壁	CB壁	RC梁	S梁		
建具	金建具	木建具										
住宅設	ユーザー登録	キッチン	洋風便器	和風便器	小便器	化粧台	洗面台	ユニットバス	浴槽			
機能	一括包絡	躯体HC	柱包絡	壁包絡	柱復帰	壁復帰	一括復帰	建具開口	仕上線			

予告なしにコマンド内容が上記と異なる場合があります。

動作環境

- 日本語 Windows7, Windows8, Windows10
- CPU クロック周波数 1GHz以上推奨
- メモリ 1GB 以上推奨
- CD-ROM 必須
- インストールに必要なハードディスク容量約 1GB

※Windows7, Windows8, Windows10 は米国 Microsoft Corporation およびその他の国における登録商標です。



提供媒体: CD-ROM

画面解像度: 1024×768

設備シリーズ

◆ ZeroCAD 衛生設備

- ・屋内衛生設備図面および各種申請書・添付図面の作成
- 配管コマンド(DV・MD・トレージ・鑄鉄管等)ー各種継手類ー単線⇄複線自動変換ー縦断面図作成機能

◆ ZeroCAD 空調設備

- ・屋内ダクト配管設備計画図面および施工図の作成
- ダクトコマンド(角ダクト・丸ダクト)ーダンパ類ー吸出・吸込ー単線⇄複線自動変換ー吹出矢印

お問い合わせ

アークシステム株式会社

本社 〒220-0011
神奈川県横浜市西区高島2丁目6番32号
横浜東口ウィスパートビル4F
TEL 045-451-5121 FAX 045-451-5123



パートナー



ホームページ <https://zerocad.jp>



Eメール kensetsu-products@ark-sys.co.jp

ZERO CAD 12

Twelve

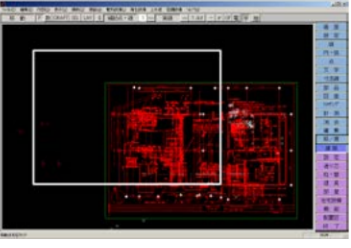
Construction



©ARK SYSTEM Co.,Ltd. All Rights Reserved.

ZEROCAD バージョン12の新しい機能

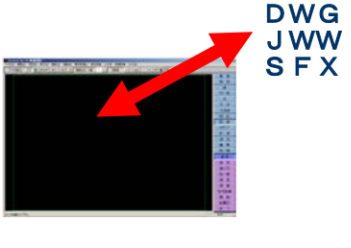
・移動時に枠だけ表示することで、大量のデータもスムーズに移動できるようになりました。



・JPEGの貼り付けでZEROCADに取り込んだJPEGが、以前よりきれいに表示されます。



・DXF、DWG、JWWなどのファイル読み込み、保存を1つのコマンドから呼び出せます。



・DXF、DWG、JWWなどのファイルを、開かずの一覧画面で選び、呼び出せます。



申請図や設計図、施工図までを幅広く、誰にも簡単に使えるのがZeroCADです。

WindowsCADが今まで使いづらいとされてきた大きな理由は、GUIにこだわり過ぎて、プルダウンメニューと小さなアイコンですべての作業をこなそうとした事にあり、結局はどのCADも同じ顔でユーザーに使いづらさを強いるだけでした。

ZeroCADは、頻繁に使うコマンド（ツール）を右クリックで手元に呼び出すPOPUPメニューと画面横のコマンドバーを文字通り呼び出すサイドプルメニューで作図します。

Human Technology

Easy Interface

サイドプルダウンメニュー
コマンド名はそのまま日本語表示されているので、CADが初めての方でもすぐに理解できます。上部にWindows 通常の上下プルダウンも装備していますがサイドプルダウンの方が圧倒的に楽ですばやく操作できます。

POPUPメニュー
マウスの右クリックで、使用頻度の高いコマンドが瞬時に手元に呼び出される大変便利な機能です。

OLE2対応
ペイントソフトやワープロ・表計算などのアプリケーションソフトをCAD画面へ自由に貼付ける強力な機能です。

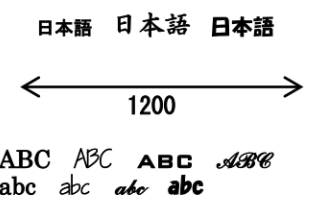
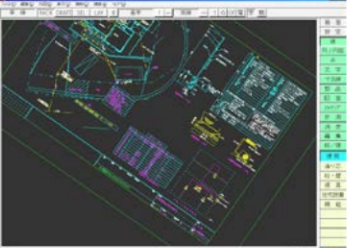
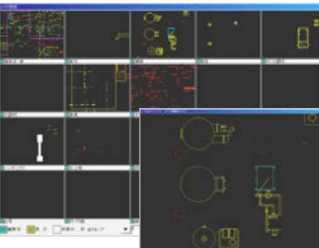
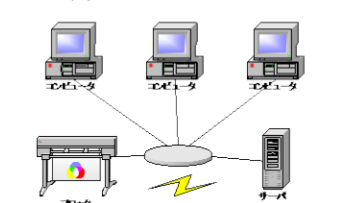
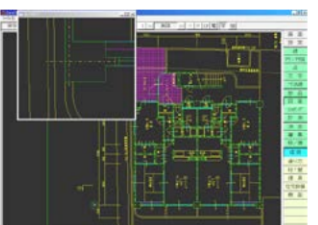
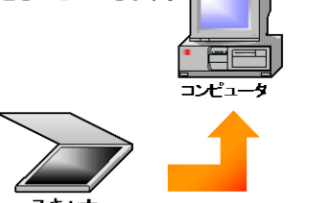
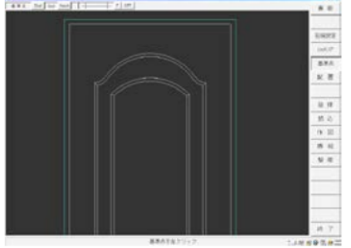
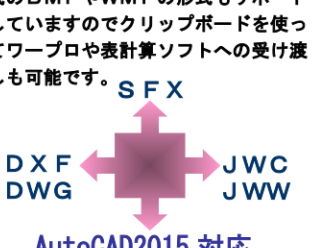
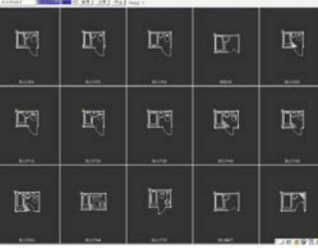
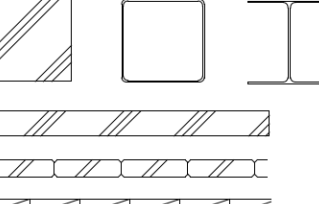
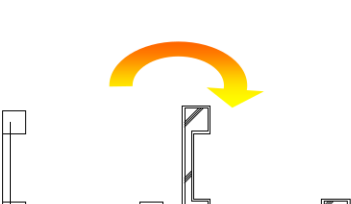
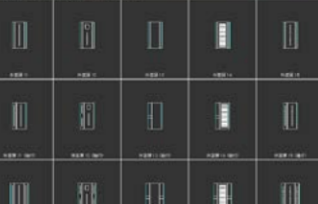


バックアップ機能
操作作図中の図面データを、急な停電やシステムダウンなどのトラブルから守ります。
マルチタスクで同時並行処理
同時に複数のZEROCADを起動し、お互いに切貼りしたりバックグラウンド出力をしながら作図ができます。





基本／汎用コマンド

日本語 Truetype フォント Windowsで利用できる高品位のフォントを使って美しい図面を作成することができます。大きな図面タイトルの作成も自由です。 	用紙を傾けて作図 用紙方向に対して斜めに作図を行なう場合は画面回転機能で用紙を傾けて作図できます。傾けることによって驚くほど操作が容易になります。 	無制限のUNDO/REDO UNDO（一つ前の作業工程に戻す）に回数制限がないので、気が付いた時点で何回も前の工程の状態に戻すことができます。また、作業終了後もデータ保存をしておけば次の電源投入時にもその履歴情報はちゃんと残っています。この機能により図面の修正箇所や修正前の数値や表現を最終段階からでも目で確認する事ができます。 	PDF 読み込み PDF内のベクトルデータを読み込み、ZEROCADのデータに変換することができます。縮尺が変わってしまったデータも縮尺補正機能で読み込んだデータ全体を拡大、縮小できます。 
自動割振りレイヤ機能 グラフィカル表示レイヤを1024桁それぞれ編集可・編集不可・非表示で学習機能でコマンドごとにレイヤを自動振り分ける使えるレイヤです。 	ネットワーク対応 作成した図面データや部品データを、ネットワークで共有する事により作業時間やうっかりミスを大幅にカットすることができます。また、複数台数の印刷機器に効率よく出力できるのも魅力的です。 	ルーペウインドウ機能 全体図を見ながら部分作図を自在にできます。ウインドウは伸縮移動自在で複数個の表示が可能で、ルーペからルーペへまたがっての作図もおこなえます。 	ラスタデータ表示 スキャナーで読み取ったA3サイズまでのラスタデータの画面表示をおこなう事ができます。データ形式はPCXとBMPのモノクロデータに限ります。PDFのラスタデータも読み込むことができます。 
バックアップ機能 万が一の操作中での電源OFFやシステムダウンにも自動バックアップ機能があれば安心ですね。バックアップの頻度や履歴数の設定もおこなえます。（システムダウンの程度によっては救済できない場合もあります。） 	パラメトリック部品登録 部品の各辺に変数設定が可能。選択時に数値を入れ変形配置することができます。包絡設定をしておけば、配置した部品の下にある図形は自動的に削除されるので消去の手間が省けます。 	外部ファイル変換 CAD間の標準変換形式DXFへの入出力はもちろんのこと、DWG/JWC/JWW/SFXのファイル形式の変換、縮尺の補正も行うことができます。また、Windowsのグラフィック標準形式のBMPやWMFの形式もサポートしていますのでクリップボードを使ってワープロや表計算ソフトへの受け渡しも可能です。 	グラフィック表示の部品配置 部品の内容をグラフィックと部品名称で表示しますので、直接的に選択できます。また、配置の際はラバー表示されますので入力したい位置に確実にのせることができます。 
各工法対応の躯体作図機 柱：RC/S/木 壁：RC/S/木/CB/ALC/軽鉄 一般計画設計用、詳細図用等にあった部材を用意。通り芯上に自動配置する機能で容易に入力することができます。 	便利な自動機能 躯体自動包絡（RC造での不要な柱・壁線の重なりを自動補正します。） 躯体ハッチング（RC造柱・壁への斜め3本線の自動発生。） 建具開口処理（柱を配置した時点で重なりあう壁部分を自動消去。） その他、仕上げ線自動作成等。 	標準建具も豊富に登録 躯体の仕上げ別（一般・打放し・仕上げ有・ALC等）、図面表現別（平面図・断面図・立面図・展開図）を項目別に用意しています。これらの建具部材は壁上に配置すると壁線を自動消去する機能があります。 	カラーボード機能 作成した平面図や立面図を着色しカラー出力ができます。また、CDカタログなどからの画像データを取り込み、CAD画面の上に貼り付けることも行なえます。 